

# 循環器病対策の進捗評価法の確立を目指した研究 — 都道府県調査 —

資料 1 - 2



国立循環器病研究センター  
循環器病対策情報センター長 飯原弘二

令和6年度厚生労働科学研究費補助金（循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業）

「循環器病対策の進捗評価法の確立を目指した研究」

（主任研究者 国立循環器研究センター 病院長 飯原弘二）

## 都道府県循環器病対策推進計画の指標の設定及び達成状況に関する調査

### 目的

- 第2期循環器病対策推進基本計画の**中間評価を行うための情報収集・計画の進捗状況を把握する**

### 対象

- 全都道府県の循環器病対策担当者

### 期間

- 令和7年3月11日～3月21日

### 調査票

- 1 循環器病対策・評価に係る体制
- 2 循環器病対策推進計画で採用している指標と評価
- 3 地域の実情に応じた循環器病対策の立案・実施・見直しの状況
- 4 循環器病対策を実施する上での課題



<庁内の連携先の関係部局>（参加している構成員に○）※複数回答

	回答数	割合
1.衛生主管部局	36	76.6%
2.介護保険部局	16	34.0%
3.教育行政関係部局	11	23.4%
4.その他	20	42.6%
無回答	6	12.8%
合計	47	100.0%

4.その他の具体的内訳

消防担当部局、危機管理防災局、県土整備部、福祉保健部地域医療政策課、高齢福祉保健課、救急搬送関係部局（危機管理部消防課）、労働関係部局（産業労働部労働雇用課）、商工労働部局、衛生主管部局、介護保険分局、教育行政関係部局、国保、商工観光労働部局 等

**衛生主管部局以外の複数の部局が関与しており、対応に関しても自治体毎ではらつきもある**

<庁外の連携先の関係部局>（参加している構成員に○）※複数回答

	回答数	割合
1.消防本部	35	74.5%
2.循環器病経験者（患者等）	41	87.2%
3.医療機関	44	93.6%
4.医師会等の職能団体	47	100.0%
5.大学・研究機関	43	91.5%
6.市町村	32	68.1%
7.管轄保健所	14	29.8%
8.その他	24	51.1%
無回答	0	0.0%
合計	47	

4.その他の具体的内訳

職能団体： 県歯科医師会、県薬剤師会、県看護協会、県理学療法士会、県介護支援専門員協会、介護支援専門員協会、栄養士会、リハビリテーション専門職協議会、医療ソーシャルワーカー協会  
 保険者： 県国保連、医療保険者、保険者協議会  
 医療関係： 予防医学協会、日本脳卒中協会都道府県支部、リハビリテーションセンター、健診機関  
 介護関係： 地域包括ケア支援センター、居宅介護支援事業所代表  
 労働関係： 労働局、労働関係機関、産業保健総合支援センター  
 消防関係： 消防長会  
 その他行政： 県保健所長会  
 その他： 食生活改善推進員協議会、保健補導員協議会、患者会

「3.医療機関」の内訳（参加している構成員に○）※複数回答

	回答数	割合
医師（循環器内科/心臓外科）	43	91.5%
医師（脳神経内科/脳神経外科）	42	89.4%
医師（救急科）	18	38.3%
医師（その他診療科）	16	34.0%
歯科医師	22	46.8%
看護職員	29	61.7%
薬剤師	21	44.7%
（管理）栄養士	14	29.8%
理学療法士	26	55.3%
作業療法士	14	29.8%
言語聴覚士	8	17.0%
社会福祉士	10	21.3%
その他	14	29.8%
無回答	3	6.4%
合計	47	

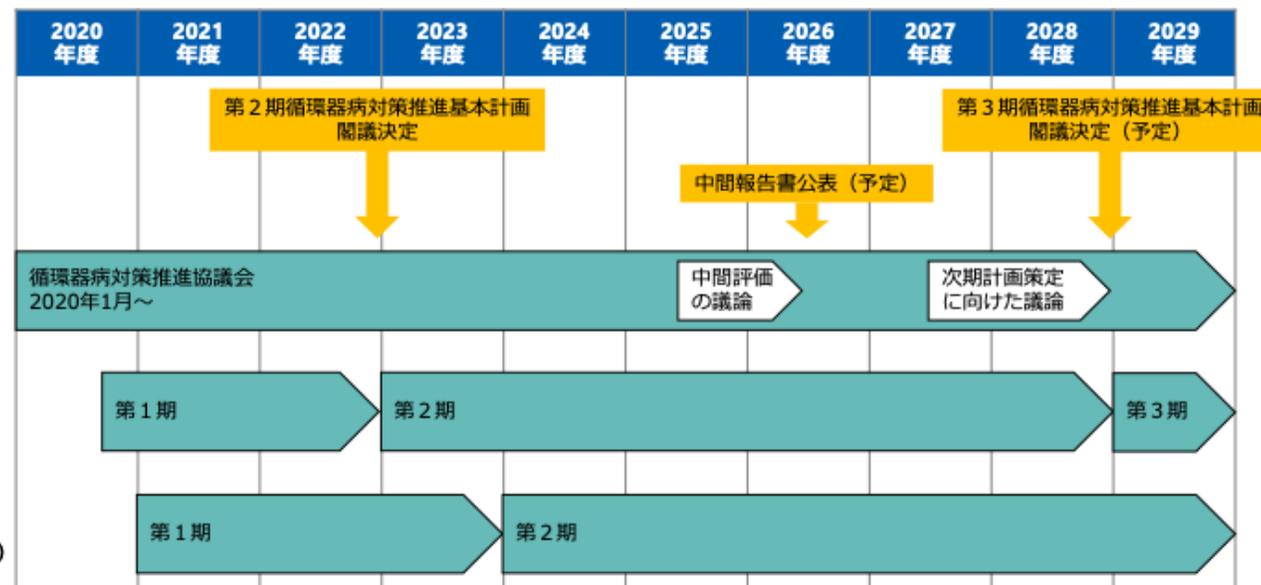
4.その他の具体的内訳

医療ソーシャルワーカー、介護支援専門員、国民健康保険団体連合会、保健師、県医師会 等

都道府県循環器対策推進協議会の実施状況

②開催実績（令和5年度・令和6年度の開催回数）

	回答数	平均
令和5年度	47	3.3回
令和6年度 ※予定を含む	47	1.3回



循環器病対策推進計画（第2期）において、ロジックモデルを採用状況

	回答数	割合
①脳卒中ロジックモデル	35	74.5%
②循環器ロジックモデル	38	80.9%
合計	47	

循環器病対策推進計画の策定・評価・見直しにおけるパブリック・コメント（意見公募）を実施の有無

【第1期循環器病対策推進計画について】

	回答数	割合
実施していない	0	0.0%
実施した	47	100.0%
無回答	0	0.0%
合計	47	100.0%

【第2期循環器病対策推進計画について】

	回答数	割合
実施しておらず、実施予定もない	0	0.0%
実施していないが、今後実施予定	0	0.0%
実施した	46	97.9%
無回答	1	2.1%
合計	47	100.0%

パブリック・コメントの結果についてどのようにフィードバックしていますか。 ※複数回答

	回答数	割合
意見や反映結果をホームページ等で公開している	45	95.7%
意見や反映結果を会議等で説明している	25	53.2%
その他*	1	2.1%
特にフィードバック等を行っていない**	1	2.1%
無回答	0	0.0%
合計	47	

\*滋賀県：パブコメは実施したが、意見等はなし。Webで公表している  
 \*\*兵庫県：脳卒中・心臓病等総合支援センターの機能として、相談支援、情報提供、仕事との両立支援など、医療と福祉両面における効率的で質の高い支援を提供できるように体制整備してほしいという意見を踏まえ、施策の方向性に「ワンストップで専門的な立場からの医療・福祉に関する必要な情報提供とともに、相談支援、治療と仕事の両立支援などにより、」を追記。現在は公開していないとのことで「特にフィードバックは行っていない」と回答

島根県は現在第1期循環器病対策推進計画(R3～8年)であり無回答

## (1) 第一期循環器病対策推進計画から都道府県独自に立案している対策 脳卒中

### 脳卒中

予防・啓発

	回答数	割合
独自の対策がある	15	31.9%
独自の対策はない	30	63.8%
無回答	2	4.3%
合計	47	100.0%

・ 県民、事業者・労務担当者向けに各セミナーを開催している。  
 ・ 県民の脳卒中の初期症状の認知度の調査を行っている。  
 ・ 脳卒中情報システム事業による脳卒中発症者に対する訪問等の実施 など

急性期

	回答数	割合
独自の対策がある	7	14.9%
独自の対策はない	35	74.5%
無回答	5	10.6%
合計	47	100.0%

・ 遠隔地の救急搬送や在宅医療における遠隔診療及びオンライン診療の普及のため積極的にICT技術を導入する。 など

維持期・生活期/慢性期

	回答数	割合
独自の対策がある	8	17.0%
独自の対策はない	34	72.3%
無回答	5	10.6%
合計	47	100.0%

・ 失語症者等やその家族に対する支援や患者・家族会への支援  
 ・ 医療的ケア児への支援  
 ・ 脳卒中・心臓病等総合支援センターを設置し、循環器病患者に対する情報提供・支援体制を整備する。 など

救護

	回答数	割合
独自の対策がある	8	17.0%
独自の対策はない	35	74.5%
無回答	4	8.5%
合計	47	100.0%

・ ドクターヘリに関する医療機関及び消防機関等との緊密な連携体制の構築  
 ・ 救命救急士の養成、生涯教育体制の充実 など

回復期

	回答数	割合
独自の対策がある	6	12.8%
独自の対策はない	36	76.6%
無回答	5	10.6%
合計	47	100.0%

・ 関係機関と連携して回復期のデータ集約支援を行っている。  
 ・ 各病院が目指す方向性として「断らない病院」と「面倒見のいい病院」という2つの目標を示し、各病院が機能分化と機能強化を進めている。 など

再発・重症化予防

	回答数	割合
独自の対策がある	6	12.8%
独自の対策はない	34	72.3%
無回答	7	14.9%
合計	47	100.0%

・ 県下統一でICT運用している「脳卒中地域連携バス」の普及を支援している。 など

## (1) 第一期循環器病対策推進計画から都道府県独自に立案している対策 心血管疾患について

### 心血管

#### 予防・啓発

	回答数	割合
独自の対策がある	13	27.7%
独自の対策はない	31	66.0%
無回答	3	6.4%
合計	47	100.0%

・循環器病による生活機能低下の予防に関する正しい知識の普及啓発について、健康づくりの県民運動「健康立県ヘルスプロモーションプロジェクト」を実施。

#### 急性期

	回答数	割合
独自の対策がある	11	23.4%
独自の対策はない	32	68.1%
無回答	4	8.5%
合計	47	100.0%

・心血管疾患に係る救急医療を含めた医療提供体制の現状把握のため、県内の医療機関への調査・分析を行っている。  
・中山間地、離島地域との遠隔医療体制の構築に向けたまめネット等のICTの活用 など

#### 維持期・生活期/慢性期

	回答数	割合
独自の対策がある	10	21.3%
独自の対策はない	33	70.2%
無回答	4	8.5%
合計	47	100.0%

・医療連携体制構築のため、医療従事者、在宅医療・介護従事者向けに各セミナーを開催している。  
・治療と仕事の両立支援を推進する企業や事業所を支援するため、「治療と仕事の両立支援推進企業認定事業」を行っている。 など

#### 救護

	回答数	割合
独自の対策がある	7	14.9%
独自の対策はない	36	76.6%
無回答	4	8.5%
合計	47	100.0%

・健康増進計画等の他計画で設定している関係する評価指標を取り入れている。 など

#### 回復期

	回答数	割合
独自の対策がある	9	19.1%
独自の対策はない	35	74.5%
無回答	3	6.4%
合計	47	100.0%

・心臓リハビリテーションの推進のため、医療機関に対する心臓リハビリテーション設備整備事業及び市町村に対する心臓リハビリテーション推進事業を行っている。 など

#### 再発・重症化予防

	回答数	割合
変更があった	8	17.0%
変更はなかった	34	72.3%
無回答	5	10.6%
合計	47	100.0%

・県民に対して、心臓病の再発予防のために、心臓リハビリテーションが重要であることの認知度の調査を行っている。  
・大学及び「心不全連携の会」と連携して、心不全患者の1年以内の再入院率のデータの集約支援を行っている。 など

(2) 第二期循環器病対策推進計画から都道府県独自に立案している対策  
脳卒中

脳卒中

予防・啓発

	回答数	割合
新規に立ち上げたり見直した事業がある	19	40.4%
新規に立ち上げたり見直した事業はない	26	55.3%
無回答	2	4.3%
合計	47	100.0%

・令和6年度から、将来の高血圧対策の一環で、高校生向けに血圧講話及び血圧測定を実施など

急性期

	回答数	割合
新規に立ち上げたり見直した事業がある	9	19.1%
新規に立ち上げたり見直した事業はない	34	72.3%
無回答	4	8.5%
合計	47	100.0%

・ICTを活用した医療連携ネットワークの構築に向けて、急性期医療機関への医療コミュニケーションアプリの導入を図る事業を新たに立ち上げた など

維持期・生活期/慢性期

	回答数	割合
新規に立ち上げたり見直した事業がある	8	17.0%
新規に立ち上げたり見直した事業はない	34	72.3%
無回答	5	10.6%
合計	47	100.0%

・循環器病に関する相談支援体制の整備、地域医療体制の整備及び医療連携体制の強化を推進するために、脳卒中・心臓病等総合支援センター事業を開始した。  
・治療と仕事の両立支援事業を新たに立ち上げた。 など

救護

	回答数	割合
新規に立ち上げたり見直した事業がある	8	17.0%
新規に立ち上げたり見直した事業はない	32	68.1%
無回答	7	14.9%
合計	47	100.0%

・脳卒中・心臓病等総合支援センターとの連携の追加  
・新興感染症発生・まん延時や災害等の有事を見据えた対策の追加  
・脳卒中の県統一プロトコルの策定 など

回復期

	回答数	割合
新規に立ち上げたり見直した事業がある	6	12.8%
新規に立ち上げたり見直した事業はない	36	76.6%
無回答	5	10.6%
合計	47	100.0%

・脳卒中手帳（仮称）の検討  
・急性期以後の医療機関における診療及び在宅医療の強化  
・循環器病患者の生活期に係る支援の強化（治療と就労の両立支援） など

再発・重症化予防

	回答数	割合
新規に立ち上げたり見直した事業がある	9	19.1%
新規に立ち上げたり見直した事業はない	34	72.3%
無回答	4	8.5%
合計	47	100.0%

・歯周病に起因する循環器病の重症化予防のため、医科歯科連携の推進に取り組む など

## (2) 第二期循環器病対策推進計画から都道府県独自に立案している対策 心血管

### 心血管

予防・啓発

	回答数	割合
新規に立ち上げたり見直した事業がある	18	38.3%
新規に立ち上げたり見直した事業はない	27	57.4%
無回答	2	4.3%
合計	47	100.0%

- ・県民、事業者・労務担当者向けに各セミナーを開催している。
- ・県民の脳卒中の初期症状の認知度の調査を行っている。
- ・脳卒中情報システム事業による脳卒中発症者に対する訪問等の実施 など

急性期

	回答数	割合
新規に立ち上げたり見直した事業がある	6	12.8%
新規に立ち上げたり見直した事業はない	34	72.3%
無回答	7	14.9%
合計	47	100.0%

- ・不整脈のカテーテルアブレーションについて、各二次保健医療圏域で実施できる体制の推進 など

維持期・生活期/慢性期

	回答数	割合
新規に立ち上げたり見直した事業がある	10	21.3%
新規に立ち上げたり見直した事業はない	30	63.8%
無回答	7	14.9%
合計	47	100.0%

- ・脳卒中に関する訪問看護ステーションの地域情報交換会の開催（令和7年度～）
- ・先天性心疾患を診ることができるための人材育成や、先天性心疾患に係る実態の把握等、基盤整備を推進（成人先天性心疾患医療提供体制整備事業）など

救護

	回答数	割合
新規に立ち上げたり見直した事業がある	8	17.0%
新規に立ち上げたり見直した事業はない	35	74.5%
無回答	4	8.5%
合計	47	100.0%

- ・救命講習等の実施は各市町が主体となり市民が修了しやすい環境整備が進んだため項目として削除。
- ・AEDの設置推進も普及が進んだため項目として削除。 など

回復期

	回答数	割合
新規に立ち上げたり見直した事業がある	7	14.9%
新規に立ち上げたり見直した事業はない	33	70.2%
無回答	7	14.9%
合計	47	100.0%

- ・心臓リハビリテーションのさらなる推進のために、医療機関に対して、心臓リハビリテーション実態調査を行った。
- ・心不全患者の生活行為パンフレットの活用普及 など

再発・重症化予防

	回答数	割合
新規に立ち上げたり見直した事業がある	10	21.3%
新規に立ち上げたり見直した事業はない	31	66.0%
無回答	6	12.8%
合計	47	100.0%

- ・「急性冠症候群再発予防フロー」の作成・普及
- ・循環器病の発症予防や人工透析への移行を防止するとともに医療費の適正化を図ることを目的に、循環器病CKD重症化予防事業を開始予定（R7年度） など

## 第1期循環器病対策推進計画について パブコメへの対応内容（一部抜粋）

研究代表者 飯原 弘二

- ・脳血管疾患及び心疾患の指標に、「食塩摂取量の平均値（g）」、「野菜摂取量の平均値（g）」、「運動習慣者の割合（%）」を追加
- ・救急隊への脳卒中教育に関する記載を追加
- ・診療科別の医師数にリハビリテーション科を追加
- ・維持期において、失語症等の高次脳機能障害をもつ患者さんへの意思疎通支援や就労支援などの記載を追加
- ・「循環器病の中には、100人に1人の割合で出生する先天性心疾患や小児不整脈、小児脳卒中といった小児期・若年期から配慮が必要な疾患がある」「肥満をはじめとする成人病リスク因子を有する小児・若年者が潜在している」旨の記載を追加
- ・受動喫煙対策についての検討(管理権限者等に対する周知、喫煙と健康に関する必要な情報提供等)
- ・二次医療圏ごとの心疾患・脳血管疾患死亡率を明示し、重点的に対策を講じるべきエリアを明らかにしてほしいとの意見があったが、第一次計画では、まずは全県的に発症予防等に取り組む、次期計画に向けた統計データの分析や地域性を考慮した施策について研究を進めていく方向で整理したため、反映せず。
- ・計画に脂質異常症に関する評価指標を追加(健康日本21第2次参考に設定)
- ・健康寿命の延伸、循環器病の減少のための、県有施設における禁煙、禁煙治療の推進、受動喫煙防止など、たばこ対策に関する意見を多数得たことから、市町村、県、国の役割を整理して返答するとともに、関連計画との整合性を図りながら取り組みを推進することとした。
- ・循環器病という言葉が一般の人に伝わらない恐れがある旨の意見を踏まえ、循環器病の定義について追記した。
- ・施策に記載していた「高血圧、心房細動等の未受診者対策や必要に応じた保健指導などの推進」に弁膜症を追記してほしい旨の意見を踏まえ、心臓弁膜症という文言を追記した。など

## 第2期循環器病対策推進計画について パブコメへの対応内容（一部抜粋）

研究代表者 飯原 弘二

- ・「**専門的な脳卒中医療**」を提供する医療機関、「**身近な脳卒中医療**」を提供する医療機関がわかりにくいため、具体的に**医療機関名と役割を追加**
- ・**デジタル技術**を効果的に活用した救急搬送の円滑化や、関係者と連携した**ドクターヘリ**の効率的な運航に努める。
- ・**循環器病患者の就労支援、就労継続支援**につきましては、**県脳卒中・心臓病等総合支援センター**等の関係機関と連携し、**就労を支援する団体に関する情報収集**などを推進していく。
- ・**特定健康診査、特定保健指導の実施率向上**等に向けた取組について検討することとした。
- ・循環器病発症の要因に、**悪性腫瘍の既往や治療後**を付け加えてほしいという意見があり、**循環器病発症の要因**に追加した。
- ・**循環器病の緩和ケア**に、重篤な心不全に対して**植込型人工心臓（DT:Destination Therapy）**適用となったことと、それをふまえ、**患者・ケアギバーを支える多職種チームの必要性**も生じていることを記載してほしいという意見があり、今後の取組の参考とした。
- ・急性心筋梗塞と大動脈瘤及び解離の**危険因子**について記載した。
- ・**減塩などの生活習慣の改善**を引き続き推進するとともに、効果的な循環器病の**予防の普及啓発**に取り組んでいくこととした。
- ・「**心臓リハビリ**は運動療法だけでなく、薬物療法、心理療法、教育を含めた包括的な疾病管理プログラムであり、県民の心大血管疾患の2次予防、予防改善に寄与するものと思われる。回復期、維持期のリハビリテーション実施率向上に向けての取組を盛り込んでほしい。」との意見を受け、**心臓リハビリテーションの実施率向上**に向け、地域医療介護総合確保基金を活用した**回復期リハビリテーション病床の整備**や**心大血管リハビリテーションの専門的知識と技術を持つ医療人材の育成**を図ることを盛り込むこととした。
- ・県民への周知啓発について、「**脳卒中・心臓病等総合支援センター**」活用を明記。 など

課題となっている項目	
住民や事業者への循環器病対策に関する普及啓発が十分でない	32 (68.1)
事業を行うための予算が不足している	22 (46.8)
事業を企画・立案する上でのエビデンス等の根拠が十分ではない	16 (34.0)
地域における循環器病対策に関する課題を把握できていない	16 (34.0)
市町村との情報共有・連携ができていない	14 (29.8)
関係機関との連携や合意形成に時間がかかる	14 (29.8)
循環器病対策を協議する場でステークホルダーからの積極的な参画・関与が得られない	3 (6.4)
その他	12 (25.5)
特に課題はない	1 (2.1)

### 普及啓発について詳細コメント

- 循環器病対策に特化した事業として予防や初期症状の普及啓発以外に、**県民・患者目線での需要が不明**
- ステークホルダーは県内基幹病院の急性期の医療関係者が多く、また疾患の特性上救急医療や急性期医療における議論は活発だが、**回復期以降については、どのような事業が効果的か不明**な部分がある

### 予算について詳細コメント

- 都道府県での予算確保状況の差が大きく、参考にできない状況。（**横展開が困難となる可能性**）
- **脳卒中・心臓病等総合支援センターの設置**に向け、R8年度以降（2年目以降）の予算確保に苦慮している。
- **具体的な政策が明確化されていない**ため、実施及び予算確保することもできない
- 予算は今後不足する可能性がある/**マンパワー不足**

## 詳細コメント

### データについて詳細コメント

- ロジックモデルにおける項目は、**行政の関与が難しい項目が多く、選択できない**
- 医療計画作成支援データブックを使用して計画の評価を行っているが、**指標の変更が多く、経年的な評価が困難**
- 循環器病対策を検討する上で、予防と医療の両輪で対応する必要があるが、医療面の検討が十分ではない
- **必要なデータ収集及びそれらのデータ分析が十分できていない。**

### 自治体内の連携などについて詳細コメント

- 地域ごとの健康格差の原因が正確に分析できないため、**県全域での支援体制の構築が課題。**
- **庁内の連携体制の強化が必要**（医療計画主管課、消防主管課、保健所）
- **関連機関の循環器病対策の理解が十分でない**

### そのほか詳細コメント

- **脳卒中・心臓病等総合支援センターを核に、地域の医療機関や支援機関と連携し、予防や再発リスクの高い人たちへの効果的な啓発や相談支援体制を推進**
- 人口減少県は、医療・救急等の機関数や従事者数、〇〇の実施件数については、増加あるいは全国レベルでの維持を目標に掲げることは、地域の実情にそぐわないため、目標項目から除外
- 循環器の**緩和ケア推進について、がん分野との連携が必要**

## 都道府県調査からニーズ

- 患者目線でわかりやすい、かつ行政目線でもわかりやすい指標にすべき（患者目線での需要を調査）

「住民や事業者への循環器病対策に関する普及啓発が十分でない」が課題では最多（32自治体、68.1%）

詳細コメントに「循環器病対策に特化した事業として予防や初期症状の普及啓発以外に、県民・患者目線での需要が不明」としている。

第二期循環器病対策推進計画から都道府県独自に立案している対策に関する調査において、「予防・啓発」が脳卒中（19自治体40.4%）、心血管（18自治体38.3%）でいずれにおいても最多。

「ロジックモデルにおける項目は、行政の関与が難しい項目が多く、選択できない」

「医療・救急等の機関数や従事者数、〇〇の実施件数については、増加あるいは全国レベルでの維持を目標に掲げることは、地域の実情にそぐわない」

→自治体間で比較しやすい割合などの指標への変更を提案

心血管にあるPCI関連の項目は実施率などの割合になっているが、その他ほとんどが件数

- 目標値の定め方や作成した指標に対して介入(=事業)手法も提案する
- 経時的なデータにアクセスしやすいプラットフォームを構築する

# 循環器病対策の進捗評価法の確立を目指した研究 — 都道府県調査 —



心臓血管系と脳血管障害の治療を行う  
世界でも画期的な最先端の大規模医療・研究施設です。

**Thank you for your attention**

国立循環器病研究センター  
循環器病対策情報センター長 飯原弘二